

「劔岳」の標高は、2,999m

- 100年越しの三角点を設置・測量、さらに最高地点の標高を決定 -

国土地理院は、^{つるぎだけ}劔岳に三等三角点を設置・測量するとともに、最高地点の標高を測量し、平成16年10月28日に公表しました。

劔岳の三角点の設置・測量は、1907年（明治40年）に国土地理院の前身である参謀本部陸地測量部の柴崎測量官らが三角点を設置するために劔岳へ登頂したものの、三角点の設置にまで至らなかった経緯があります。その登頂から数え2007年（平成19年）で100年を迎えることから、国土地理院北陸地方測量部が事務局として推進する「劔岳測量100周年記念事業」の一環として実施したものです。

三等三角点「劔岳」の標高・緯度経度及び点の記について

1. GPS測量から求めた三等三角点「劔岳」の位置は以下の通りです。

標高：2,997.1m

緯度：北緯 36° 37' 24"

経度：東経 137° 37' 02"

劔岳の最高地点と標高について

1. 劔岳の最高地点は、三等三角点「劔岳」より南西方向へ約13m離れた、祠（ほこら）の西側に突出した岩上であることが分かりました。
2. 劔岳の最高地点の標高は、三等三角点「劔岳」より水準測量を実施し、1.5m高いことを確認しました。



平成16年8月25日に実施した、三等三角点「劔岳」でのGPS測量

北アルプスの秀峰＝劔岳、どんな山？

日本地図には、平野は緑色、山岳地帯は茶色に色塗りされているものが多いです。この表現方法で作成した地図は、段彩図と読んでいます。

富山県は、海岸に面しながらも茶色が多く（図-1）、「国土数値情報（国土地理院）」によれば、平均標高が約 660m となっています。

富山市内から見た北アルプスの山々は、最高峰である立山（大汝山：3,015m）を頂点として雄峰が目白押しで、そのなかでも、人目を引くのが、劔岳（写真-1）です。

両肩を張ったゆるぎない姿勢で立つさまは、厳しく、力強く、美しいです。また、劔岳ほどアルプス的な山も、日本ではめずらしいです。八ツ峰、源次郎尾根、早月尾根、劔尾根、小窓尾根がその鋭さを競い、それらを収斂した絶頂が劔岳の山頂となっています。

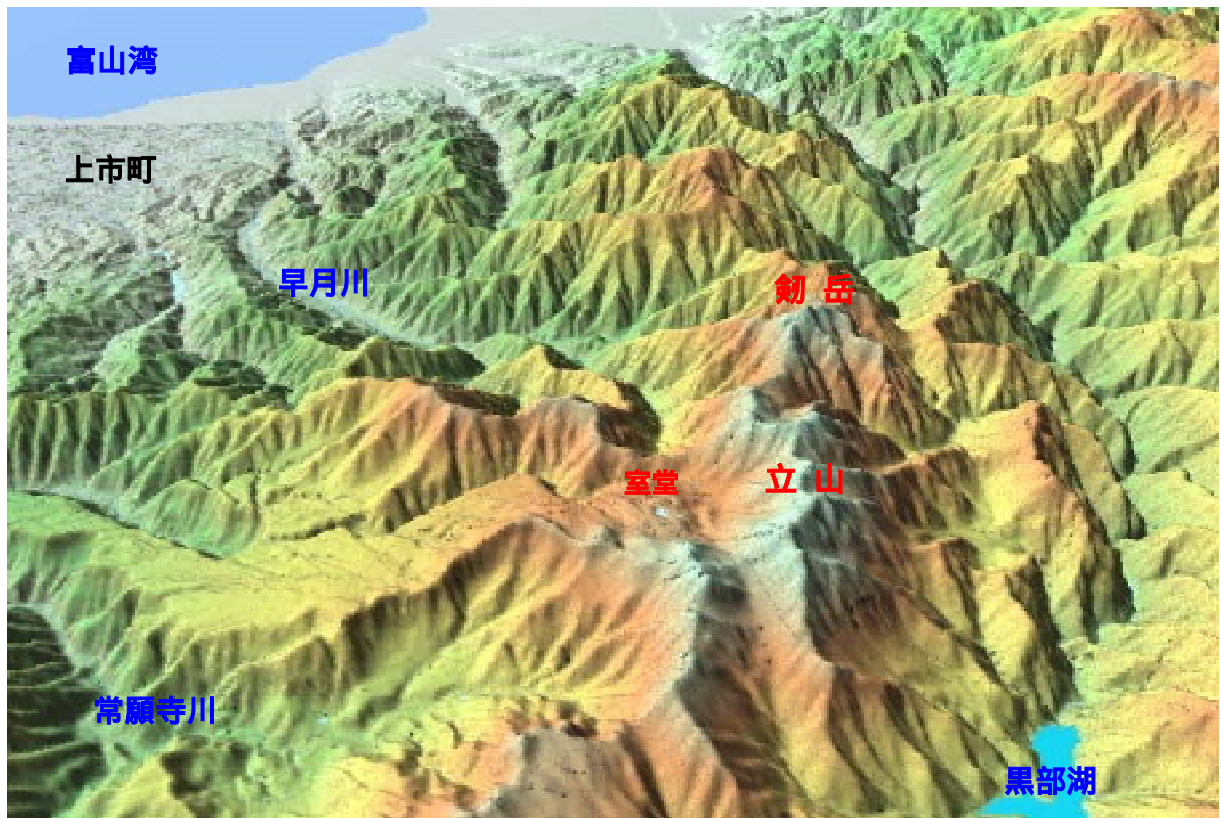


図-1 100 万分 1 国際図「日本Ⅱ」
○中央が劔岳



写真-1 劔岳（劔岳測量時に劔御前より撮影）

劔岳周辺を俯瞰（高いところから見下ろしました）



(「数値地図50mメッシュ(標高)」及び「数値地図25000(地図画像)」データを用いて、
「カシミール3D」により作成)